

～東放学園音響専門学校に入学すること～

2 D 古川 友海

・目次

- ①はじめに
- ②調査方法
- ③調査結果
- ④考察
- ⑤まとめ
- ⑥今後について

①はじめに

今回、4度目となる小山内ゼミです。最後の小山内ゼミとなりました。そこで今回私が調べるのは、私やまわりの友人が東放学園音響専門学校に入学したことでの変化や、自分たちにメリットや直してほしいところがあったかを生徒側からみて、まとめ、プレゼンしようと思いました。

②調査方法

私の周りの東放学園音響専門学校の二年生に「この学校に入学してよかった事はありましたか」と質問する。また私自身2年間で感じたことなど。

③調査結果

1. 東放学園音響専門学校に入学したことによるメリット

- ・友達が増えた
- ・好きな先生に会えた
- ・面白い先生に会えた
- ・自分の知りたい分野の音楽に触れることができた
- ・音楽の聴き方が入学する前と変わって楽しくなった
- ・聞く音楽の分野が広がった
- ・音楽に関連した授業だけではない授業もたくさんあり、音楽以外にも興味が持てるものができる
- ・もっと音楽の分野に強くなった
- ・特別講座などで貴重な体験ができた
- ・就職活動がしやすかった
- ・たくさんの資格が取れたこと

- ・留学生と交流が持てた
- ・東京（新宿など）に詳しくなった

2. とくによかったこと

- ・体験入学のスタッフとして生徒が参加でき、もっと機材に詳しくなれた
- ・教室や機材が借りられたこと
- ・JIST やおとまるブログのようなサイトでいつでも情報を確認できたこと
- ・就職活動の仕方や履歴書の書き方を教わることができた
- ・学校のOB やOG や業界の人による話が聞けたこと
- ・先生方がとてもフレンドリーで優しいところ

3. あまりよくないと感じたところ

- ・音楽以外の勉強ができなくなる

4. 改善を検討してほしいところ

- ・用事のある先生がいつどの校舎にいるかわからないところ
- ・体験入学の報酬がないこと
- ・特別講座が何点で、履修できているのかいないのか全く分からぬ
- ・名札を付けないで歩いている先生の名前がわからなかつたり、先生かどうかがわからぬことがある

という結果になった。

④考察

調査結果から、ほぼメリットしかないことが見える。メリットでは人間関係が広まつたり、音楽についても様々な知識や感性が増えたという結果になった。そのほかにも、音楽について以外の知識や、就職活動などについて多くのメリットが挙げられた。

デメリットに関しては、音楽の勉強以外がほぼできなくなつたと感じ、実際に私は高校入試レベルの英語や、数一が解けなくなつた。就活で一般常識などがある場合は不利に落ちると考えられる。まわりでも一般常識に苦手を抱いている人がとても多く感じられる。

そして改善してほしい点に関してだが、まず、先生がいつどの校舎にいるか、そもそも出勤しているのかわかるようにしてほしいと考えている。新型コロナウイルスの影響で学校に行く機会が少なくなり、特定の先生に会わなければいけない用事があつてもいついらっしゃるかわからずほぼ運で学校にいくことがあつた。また、体験入学に関してもボラン

ティアなので報酬と考えるのはよくないかもしれないが、スタンプが全部たまつとしてもらえるのは好きな先生からひとこと。私もすべてたまつたが、私はそれが欲しいと思えず、だれからももらわざ終わった。東放学園映画専門学校では体験入学で単位がもらえると聞き、そこから体験入学の体制に少し疑問を抱くようになった。私以外のよく体験入学に参加している人に言っても私とおなじようなことをいう人が多い。体験入学のスタッフ自体は楽しいと感じるが、そこらへんに疑問を抱いている人も多い。

⑤まとめ

改善してほしいところはすこしかりましたが、それでもとても楽しい二年間だったと感じています。東放学園音響専門学校に入学した生徒を支えていただいたすべての先生方や警備員さんや掃除などをしてくれていた方などすべての方に感謝したいと思います。

⑥今後について

私が卒業した後もまだまだコロナでオンラインだったり対面が少ない状態だったりで、生徒間同士の交流も先生方との交流も今まで通りにはならないと思いますが、また今まで通りの生活が戻ってきて、後輩たちがいろんな人に会え、オンラインではなく生音でいろんなものを聞ける日常が返ってくることを願っています。

私自身この二年間の経験を生かしてこれから生きていきたいと思います。とても貴重な体験をたくさんできました。ありがとうございました。